

拠点事業にかかる共同利用・共同研究による成果として発表される論文について

◆謝辞 Acknowledgement について◆

本拠点事業にかかる共同利用・共同研究による成果に基づいて論文を発表される場合は、その旨を以下の【例】のように明記して下さい。

(1) 共同研究員、国際共同研究、NMR 共同利用研究、クライオ電顕共同利用研究、客員フェロー

●共同研究員【例】

This work was performed in part under the Collaborative Research Program of Institute for Protein Research, Osaka University, CR-〇〇-●●. ※〇〇は西暦年の下2桁 ●●は別添の部門・センター番号

●国際共同研究【例】

This work was performed in part under the International Collaborative Research Program of Institute for Protein Research, Osaka University, ICR-〇〇-●●.

●NMR 共同利用研究【例】

This work was performed in part using the NMR spectrometers with the ultra-high magnetic fields under the Collaborative Research Program of Institute for Protein Research, Osaka University, NMRCR-〇〇-●●.

●クライオ電子顕微鏡共同利用研究【例】

This work was performed in part using the cryoelectron microscope under the Collaborative Research Program of Institute for Protein Research, Osaka University, CEMCR-〇〇-●●.

●客員フェロー【例】

This work was performed in part under the Collaborative Research Program as the Visiting Fellow of Institute for Protein Research, Osaka University, VFCR-〇〇-●●.

※文末の下線を付した箇所を下記ルールに従って適宜記入すること。

「事業名を示すアルファベット - 年度 - 部門・センター番号」

① ② ③

①共同研究員の場合は CR、国際共同研究の場合は ICR、NMR の場合は NMRCR、クライオ電顕の場合は CEMCR、客員フェローの場合は VFCR と記入。(CR は Collaborative Research の略、I は International の略、CEM は CryoElectron Microscope の略、VF は Visiting Fellow の略)

②西暦年の下2桁を記入。なお、この西暦年とは、原則として“共同研究を行った年”とするが、複数年に亘る研究による成果(論文業績)についてはこの限りではなく、表記を著者に委ねる。

③蛋白質研究所の3部門・1センターについて別途あらかじめ定めた番号*を記入。

*番号一覧については次頁に記載。

(2) ビームライン共同利用研究

●ビームライン共同利用研究【例】

This work was performed using a synchrotron beamline BL44XU at SPring-8 under the Collaborative Research Program of Institute for Protein Research, Osaka University. Diffraction data were collected at the Osaka University beamline BL44XU at SPring-8 (Harima, Japan) (Proposal No. 20〇〇AXXXX, 20〇〇BXXXX, and 20〇〇AXXXX). ※20〇〇の〇〇は西暦年の下2桁

※後半の文章にある 20〇〇AXXXX というのが半年ごとにつけられる SPring-8 課題番号
SPring-8 課題番号は、

西暦・期 (A または B)・蛋白研ビームライン共同利用研究課題番号となっている。
また、成果に関わる実験に利用した課題番号の全てを記入すること。

* 番号一覧

番号	部門・センター	研究室・グループ
01	蛋白質化学研究部門 Division of Protein Chemistry	●蛋白質有機化学（北條裕信教授） Laboratory of Protein Organic Chemistry Prof. HOJO, Hironobu ●細胞システム（岡田眞里子教授） Laboratory of Cell Systems Prof. OKADA, Mariko ●蛋白質ナノ科学（原田慶恵教授） Laboratory of Nanobiology Prof. HARADA, Yoshie ●オルガネラバイオロジー（中井正人准教授） Laboratory of Organelle Biology Associate Prof. NAKAI, Masato
02	蛋白質構造生物学研究部門 Division of Protein Structural Biology	●機能構造計測学（藤原敏道教授） Laboratory of Molecular Biophysics Prof. FUJIWARA, Toshimichi ●蛋白質結晶学（栗栖源嗣教授） Laboratory of Protein Crystallography Prof. KURISU, Genji ●電子線構造生物学（加藤貴之教授） Laboratory of CryoEM Structural Biology Prof. KATO, Takayuki ●膜蛋白質化学（三間穰治准教授） Laboratory of Membrane Protein Chemistry Associate Prof. MIMA, Joji
03	蛋白質高次機能学研究部門 Division of Integrated Protein Functions	●分子発生学（古川貴久教授） Laboratory for Molecular and Developmental Biology: Prof. FURUKAWA, Takahisa ●ゲノム・染色体機能（篠原彰教授） Laboratory of Genome and Chromosome Functions Prof. SHINOHARA, Akira ●高次脳機能学（足田貴俊教授） Laboratory for Advanced Brain Functions Prof. HIKIDA, Takatoshi ●細胞核動態情報 Laboratory for Nuclear Dynamics ●体内環境統合蛋白質（奥村宣明准教授） Laboratory of Homeostatic Integration Associate Prof. OKUMURA, Nobuaki
05	附属蛋白質解析先端研究センター Research Center for State-of-the-Art Functional Protein Analysis	●機能・発現プロテオミクス（高尾敏文教授） Laboratory of Protein Profiling and Functional Proteomics Prof. TAKAO, Toshifumi ●分子創製学（高木淳一教授） Laboratory of Protein Synthesis and Expression Prof. TAKAGI, Junichi ●先端計測（宮ノ入洋平准教授、山下栄樹准教授、 Laboratory of Advanced Protein Characterization Associate Prof. MIYANOIRI, Yohei Associate Prof. YAMASHITA, Eiki ●超分子構造解析学（中川敦史教授） Laboratory of Supramolecular Crystallography Prof. NAKAGAWA, Atsushi ●計算生物学（水口賢司教授） Laboratory of Computational Biology Prof. MIZUGUCHI, Kenji ●データベース開発（栗栖源嗣教授） Laboratory of Protein Databases Prof. KURISU, Genji

※部門・センター番号において No.4 は欠番

◆論文発表の報告について◆

拠点事業を継続して運営していくためには、共同利用・共同研究によって多くの研究成果があがっていることをアピールする必要があります。そのために、共同研究員の皆様が発表された論文業績をデータとして蓄積していきたいと考えております。

つきましては、今後発表される論文には、前述したように謝辞 Acknowledgement の明記をお願いしますとともに、論文発表された旨をご報告いただきますようお願い申し上げます。

【報告方法】

(1)研究期間中に発表(accepted、in press も含む)された論文業績について

研究期間終了時にご提出いただく「研究成果報告書」様式に、論文業績を記入する欄を設けております。そちらにご記入いただくことにより、ご報告下さい。なお、「研究成果報告書」の様式および提出期限等の詳細については、当該年度終了後の毎年4月初め頃にメール通知いたします。

(2)研究期間終了後に発表された論文業績について

毎年6月頃に、過去に本拠点事業に参画された共同研究員（研究代表者）全員にメールによる照会をかけさせていただきます。上記(1)により報告されなかった論文業績について、ご報告下さい。